

ソフトウェア製品セキュリティ情報

Software Vulnerability Information

ソフトウェア事業部 (Software Division)

HITACHI
Inspire the Next

| ホーム | 製品&サービス | >> セキュリティ |

>> 英語ページへ

日立サイトの検索 by Google

> GO

> 詳細な検索

ホーム > 製品セキュリティ情報 > ソフトウェア事業部セキュリティ情報 > HS04-002

> トップ

 > What's New

- > お知らせ
- > 御参考 (警告情報など)

> 御参考 (警告情報など)

> ソフトウェア製品セキュリティ情報

> セキュリティ対応機関へのリンク

> お問い合わせ

[soft-security](#)@itg.hitachi.co.jp

個人情報保護ポリシーにご同意頂ける場合のみ、上記アドレスをご利用下さい。ご同意頂けない場合には、お問い合わせに回答できない場合があります。

なお、入力頂いた個人情報は本ポリシーに従って適切に管理

し、問合せ対応のためにのみ使用します。第三者への個人情報の提供、預託、開示は法令に基づく場合を除いて行いません。

お問い合わせへの回答後、個人情報は当社が責任を持って適切に廃棄いたします。

> 日立および他社の商品名称に関する記述

2004.10.29更新

Web Page GeneratorにおけるDoS脆弱性の説明

■ 影響がある製品

対策	製品名	適用OS	更新日
HS04-002-01	Web Page Generator	Windows	2004.10.29

■ 問題の説明

上記の製品を使用しているWebサイトにおいて、不正なアクセスを行った場合、Webブラウザへの応答が返らなくなる可能性があるという問題です。また、不正なアクセスを繰り返し行った場合、当該Webサイトの機能が停止する可能性があります。

更新履歴：

- 2004.10.29 : 対策ページを更新しました。
- 2004.08.06 : 対策ページを更新しました。
- 2004.07.21 : このセキュリティ情報ページを新規作成および発信しました。

- 弊社では、セキュリティ対応に関して正確な情報を提供するように努力しておりますが、セキュリティ問題に関する情報は変化しており、当ホームページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。情報ご参照の際には、常に最新の情報をご確認いただくようお願いいたします。
- 当ホームページに記載されている製品には、他社開発製品が含まれております。これらのセキュリティ情報については他社から提供、または公開された情報を基にしております。弊社では、情報の正確性および完全性について注意を払っておりますが、開発元の状況変化に伴い、当ホームページの記載内容に変更が生じることがあります。
- 当ホームページはセキュリティ情報の提供を目的としたものであり、法律上の責任を負うものではありません。お客様が独自に行なった(あるいは行なわなかった)セキュリティ対応その他のご行為の結果につきまして、弊社では責任を負いかねます。
- 当ホームページから他サイトのページへのリンクアドレスは情報発信時のものです。他サイトでの変更などを発見した場合には、リンク切れ等にならないように努力はいたしますが、永続的にリンク先を保証するものではありません。

[🏠 ページトップへ](#)

ソフトウェア製品セキュリティ情報

Software Vulnerability Information



ソフトウェア事業部 (Software Division)

ホーム | 製品&サービス | >> セキュリティ |

英語ページへ

日立サイトの検索 by Google

> GO

> 詳細な検索

ホーム > 製品セキュリティ情報 > ソフトウェア事業部セキュリティ情報 > HS04-002-01

> トップ

> What's New

> お知らせ

> 御参考 (警告情報など)

> ソフトウェア製品セキュリティ情報

> セキュリティ対応機関へのリンク

> お問い合わせ

[soft-security](#)

@itg.hitachi.co.jp

個人情報保護ポリシーにご同意頂ける場合のみ、上記アドレスをご利用下さい。ご同意頂けない場合には、お問い合わせに回答できない場合があります。

なお、入力頂いた個人情報は本ポリシーに従って適切に管理し、問合せ対応のためにのみ使用します。第三者への個人情報の提供、預託、開示は法令に基づく場合を除いて行いません。お問い合わせへの回答後、個人情報は当社が責任を持って適切に廃棄いたします。

> 日立および他社の商品名称に関する記述

2004.10.29更新

HS04-002;

Web Page GeneratorにおけるDoS脆弱性の説明

Web Page Generatorの対策

Web Page Generatorを使用しているWebサイトにおいて、不正なアクセスを行った場合、Webブラウザへの応答が返らなくなる可能性があるという問題が判明しました。

各形名の最新バージョンについて対策版をご提供いたします。この対策版へのバージョンアップをお願いします。

[該当形名・バージョン, および対策版の提供]

形名	製品名	対象バージョン	適用OS	吸収予定バージョン	提供時期	更新日
P-F2463-61141	Web Page Generator	01-00~ 01-01-/C	Windows	(注1)		2004.07.21
P-2451-2124	Web Page Generator	02-00~ 02-00-/C		(注1)		2004.07.21
P-2451-	Web Page Generator	03-00~ 03-02-/C		03-03-/D (注2)	2004.07.15	2004.10.29

2134	Enterprise 3.0	03-03～ 03-03-/C		03-03-/D	2004.07.15	2004.07.21
P-2451- 2154	Web Page Generator	04-00～ 04-00-/C		04-02-/L (注2)	2004.07.15	2004.10.29
	Enterprise 4.0	04-02～ 04-02-/K		04-02-/L	2004.07.15	2004.07.21



(注1) 本製品の後継製品である形名P-2451-2134の03-03-/D以降もしくは形名P-2451-2154の04-02-/L以降へのバージョンアップをお願いいたします。

(注2) 本製品は、リビジョンアップをお願いいたします。

- サポートサービスをご契約されているお客様

サポートサービスの改良版の提供についてのホームページをご参照いただき、ホームページでご案内している手順にしたがって、対策版をご入手ください。

- サポートサービスをご契約されていないお客様

Web Page Generatorに関しては、ライセンス管理を適切に行なう必要があるため、お手数ですが、[こちら](#)より提供をご依頼ください。

[回避方法]

この脆弱性に対しては、下記回避策があります。対策版へ入れ替えるまではこの回避策を実施して下さい。

- 形名、P-F2463-61141、P-2451-2124、P-2451-2134

回避方法はあります。

- 形名、P-2451-2154

1. 動作環境定義ファイル(WebPGen.cfg)のPAGE_GENERATOR_EDITION プロパティに2を設定していた場合

中間語生成モードのテンプレートファイル解析エンジンを使用する設定になっています。この状態では、本問題は発生しません。

2. 動作環境定義ファイル(WebPGen.cfg)のPAGE_GENERATOR_EDITION プロパティに2を設定していない場合

(未設定やノーマルモードの設定に変更している場合)

(1) コンフィグレーションファイルの設定

動作環境定義ファイル(WebPGen.cfg)に以下の定義を行うことで、中間語生成モードのテンプレートファイル解析エンジンを使用ようになります。尚、中間語生成モードでは、本問題は発生しません。

定義例：

```
PAGE_GENERATOR_EDITION= 2
```

(2) システムで必要な変更

上記の設定を行った場合、中間語生成モードでテンプレートファイルが解釈・実行されるようになります。この場合、以下の変更が必要になります。

- ① 動作環境定義ファイル(WebPGen.cfg)にノーマルモードとの互換オプションを指定する必要があります (詳細は、READMEを参照)

願います)。

- ② 中間語生成モードでは、マクロ定義ファイル(Macro.cfg)、メソッド定義ファイル(Method.cfg)のコメント形式が「#」から「<!@BCOMMENT>~<!/BCOMMENT>」に変わったため、「#」でコメントアウトしたマクロやメソッド等を読み込んでしまいます。従って、マクロ定義ファイル、メソッド定義ファイルを変更する必要があります。
- ③ 中間語生成モードでは、テンプレートファイル解析処理がより厳密になっており、文法エラーが発生する可能性があるのでテンプレートファイルの修正が必要になる場合があります(詳細は、マニュアルを参照願います)。
- ④ 中間語生成モードでは、中間語データのキャッシュ機能のため、ノーマルモードに比べて更にメモリ容量およびディスク容量を必要とします。従って、これらの容量を予め見積もる必要があります(詳細は、READMEを参照願います)。

更新履歴：

- 2004.10.29 : [対象形名・バージョン一覧, および対策版の提供]の形名P-2451-2134、形名P-2451-2154、(注1)、(注2)を更新しました。
- 2004.08.06 : 対策版の入手方法について更新しました。
- 2004.07.21 : Web Page GeneratorにおけるDoS脆弱性の情報を公開しました。

-
- 弊社では、セキュリティ対応に関して正確な情報を提供できるよう努力しておりますが、セキュリティ問題に関する情報は変化しており、当ホームページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あら

はじめご了承ください。情報ご参照の際には、常に最新の情報をご確認いただくようお願いします。

- 当ホームページに記載されている製品には、他社開発製品が含まれております。これらのセキュリティ情報については他社から提供、または公開された情報を基にしております。弊社では、情報の正確性および完全性について注意を払っておりますが、開発元の状況変化に伴い、当ホームページの記載内容に変更が生じることがあります。
- 当ホームページはセキュリティ情報の提供を目的としたものであり、法律上の責任を負うものではありません。お客様が独自に行なった(あるいは行なわなかった)セキュリティ対応その他のご行為の結果につきまして、弊社では責任を負いかねます。
- 当ホームページから他サイトのページへのリンクアドレスは情報発信時のものです。他サイトでの変更などを発見した場合には、リンク切れ等にならないように努力はいたしますが、永続的にリンク先を保証するものではありません。

 [ページトップへ](#)